

令和四年度



三宅村立三宅中学校

学校だより

第 161 号

令和 4 年 9 月 1 日

校長 小澤 秋仁

東京都三宅島三宅村伊豆 470

TEL 04994-2-0049

FAX 04994-2-1376

<http://miyake-chu.sakura.ne.jp/>

東北

校長 小澤秋仁

この夏、私は何度も東北という言葉に耳にしました。大雨が、東北各地に数々の被害をもたらしました。また、中学校体育連盟主催による各競技の全国大会が、東北ブロックで行われたため、役員として運営に携わる私は、東北地方の被害を伝えるニュースを聞き流すことはできませんでした。会場である秋田県由利本荘市の芋川が氾濫したとなると心配は最高潮に達しました。

当日、現地入りすると、秋田の役員から大会には影響ないとの報告を受け安心しました。大会会場は氾濫による影響は少なかったものの、付近は浸水や建物の倒壊、田畑に泥水が流れ込む、道路の損壊など被害は拡大していました。しかし、幹線道路の修復工事は早かったようです。同大会補助に来ていた青森県の役員の方とも話す機会があり、やはり青森にも被害があったのですが、「瞬間に改修された」とのこと。災害に対する対応の速さや、修復の早さに驚きました。

高校野球においても、東北が話題となりました。仙台育英が優勝旗を初めて東北に持ち帰ったことは「白河の関を越えた」と大きく見出しを飾りました。私が注目したのは、準決勝の福島県の聖光学院と仙台育英の東北対決です。9 回の裏、聖光学院の攻撃でしたが、既に 4 対 18 と大量のリードを仙台育英に許していました。一塁走者として試合を終えた聖光学院・赤堀主将は、終始涙交じりにあきらめることなく最後のバッターにも声を張り上げ続けました。試合終了のあいさつの時、相手校歌の時もずっと大粒の涙で顔をくしゃくしゃにしていました。

試合後のインタビューでは、「泥臭くできた」と涙が止まらないまま答えていました。何事にもスマートに取り組むことを求めている時代に、未来を担う人材から、この言葉を聴くとは思わず、感動しました。赤堀学年は入学当初、周囲からの評価が低く、谷間の学年といわれてきました。そこで、赤堀主将は「弱さは受け入れた。だからといって勝てないわけではない」と反骨心に変え、自分と仲間を鼓舞したといいます。守備、走塁、犠打を完璧にこなせるまで、基本に忠実に練習し、ユニフォームは泥だらけで何色かわからなくなるまでボールを追いかけたのです。その上、選手間ミーティングでも時には涙ながらに、またある時は厳しい口調で仲間を叱責。あるインタビューには「嫌われ役でも

教育目標

「ふるさとの発展に進んで貢献する生徒の育成」

- 1 目標をもって意欲的に学ぶ生徒
- 2 人間性・社会性をはぐくみ、相手の立場に立って行動する生徒
- 3 心身ともに健康で明るい生徒

いいと思っていた」と。「しかし、言いたくないことを言ってくれると皆分かってきていた」と続けました。

聖光学院野球部に所属する赤堀主将の弟は、兄のことを次のように語っています。「毎試合毎試合負けては泣いて、負けては泣いて、一試合にかける思いや、一球に対しての思いは、小さいころからあった。」一試合にかける思い、一球にかける強い思いは、「弱い」と言われてきたチームを鼓舞し、初の甲子園ベスト 4 まで押し上げたのです。

聖光学院の強い思いは、仙台育英に引き継がれ、決勝戦において、選手ばかりでなく、仙台育英の応援にも広がりました。仙台育英の応援団が演奏した曲は、聖光学院の応援歌 GReeeeen のキセキであったのです。仙台育英が下関国際を下し優勝。仙台育英の優勝は、チーム東北がもたらしたキセキです。強い思いが広がっていった結果なのです。

二学期は、運動会、文化祭、合同音楽会など、チームとして取り組む行事がいくつもあります。仲間を鼓舞する声掛け、何より、各自が一つ一つの行事に思いをもって取り組めば、チーム三宅は大きな成長を遂げることでしょう。

福島県に凱旋し、学校に到着した赤堀主将は、「甲子園で果たせなかった日本一は、国体で果たすチャンスがある」と、10 月に栃木で行われる国民体育大会に向けて決意を表明しました。彼自身の流した大涙による被害は、驚異的な早さで改修されておりました。

キセキは、偶然に生まれるものではなく、強い思いと必然に繰り返される練習の上に生まれるのだとその姿を見て気付かされました。

9 月の生活目標

自ら進んで行動しよう

9 月の保健目標

けがの予防をしよう

シーカヤック体験学習

【1年生 7/1・7/8、2年生 6/29、3年生 6/28】

1年生は波は穏やかながら厳しい暑さの下、シーカヤックに初挑戦しました。2、3年生は強い風とうねりに苦戦し、楽しさとともに海の厳しさも体感することができました。

1
年
生



2
年
生



3
年
生



なお、シーカヤック指導は菊地健一郎さんに、漁船による見守りは穴原甲一郎さんと山岡敏朗さんにご協力いただきました。このように、地域資源を活用した特色ある学校行事は、地域の皆様の支えのおかげで成り立っています。

部活動 夏の大会結果

【バレーボール部男子】

7/15 母島中と合同練習

7/16 島しょ大会 三宅・母島 2-0 神津中
(島しょ地区代表として都大会出場決定)

7/17 都大会 1回戦 三宅・母島 0-2 足立区立江北桜中

【バレーボール部女子】

7/16 島しょ大会(小笠原辞退により5チーム対抗)

予選ブロック 三宅 0-2 大島合同
(ブロック2位で3位決定戦へ)

3位決定戦 三宅 1-2 神津中

(三宅中4位。八丈、大島、神津が都大会出場)

【野球部】

7/21 都大会 1回戦 柴又第二グラウンド

三宅中 1-15 八丈合同(5回コールド)

現地での応援、動画視聴での応援、その他様々なご支援をいただきました。PTAからは飲み物等の差し入れをいただきました。ありがとうございました。



3年生 修学旅行学習発表会【7月11日】

修学旅行での思い出を紀行文にまとめ、魅力的な挿し絵とともに1、2年生、保護者に披露してくれました。学校ホームページ「学校日記」にて全作品を紹介しています。



令和4年9月 主な予定

- 1日(木) 始業式 安全指導
- 2日(金) 1年生実力テスト 漢字検定
- 5日(月) 水泳記録会
- 9日(金) 2年生ボランティア活動
PTA役員会
- 12日(月) 1年生茅葺体験学習
- 15日(木) 1年生巨樹学習 中央委員会
- 16日(金) 生徒会役員選挙 心理士巡回
- 17日(土) 学校公開 部活動保護者会
- 20日(火) 専門委員会
- 21日(水) 小中合同運動会練習①
- 22日(木) 小中合同運動会練習②
- 26日(月) 生徒朝礼 小中合同練習③
- 27日(火) 避難訓練
- 28日(水) 運動会予行練習 14:35 下校
- 30日(金) 運動会準備⑤⑥

※スクールカウンセラー来校予定日

7(水)・8(木)・13(火)・27(火)・28(水)



◆学校だよりのカラー版は学校ホームページでご覧になれます。
(「三宅村立三宅中学校」で検索してください。)